

2015年度 北海道生物多様性保全活動連携支援センター（HoBiCC）事業報告

■第5回国際野生動物管理学会 特別シンポジウム

『情熱ある若者よ 野生動物の専門家を目指せ！～世界のワイルドライフ・マネージャーからのメッセージ』

開催日時	場所	参加者	主催等
7月28日(火) 18:15～18:00 (国際交流会 18:15～20:00)	札幌コンベンションセンター 特別会議場	160名	〈主催〉第5回国際野生動物管理学会 運営委員会事務局、HoBiCC 〈協賛〉ほつくー基金（北洋銀行）

内容・講師

第5回国際野生動物管理学会（IWMC）は、研究者による学会で参加費も非常に高いため、学生の参加が難しいが、今回アジアで初めてとなる大会であり、非常に貴重な機会であるため、高校生の参加の機会を設け、この分野への関心喚起を図るために実施した。

●プログラム

- 1 趣旨説明／上原 裕世 氏（酪農学園大学大学院）
- 2 企業人からのメッセージ／横内 龍三 氏（北洋銀行取締役会長）
- 3 高校生による取り組み紹介プレゼンテーション
／発表順：旭川西、釧路湖陵、羅臼、札幌旭丘、札幌啓成、滝川
- 4 The Wildlife Society 会長からのメッセージ／Rick Baydack 氏（The Wildlife Society）
- 5 NPO からのメッセージ／David Morris 氏（英国王立鳥類保護協会）
- 6 北海道の研究者からのメッセージ／吉田剛司氏（酪農学園大学・Vth IWMC 事務局長）

≪国際交流会（ポスター発表会含む）≫ 18:15 ～ 20:00

<高校生発表テーマ>

- (1) 北海道旭川西高等学校
「ウサギの行動展示」
- (2) 北海道釧路湖陵高等学校
「エゾシカの行動範囲とダニ媒介性感染症について」
- (3) 北海道羅臼高等学校
「ヒグマとの共存のために私たちができること」
- (4) 北海道札幌旭丘高等学校
「守ろう！湿原の女神、カラカネイトトンボトンボが教えてくれる北方生態系の維持と地球温暖化防止の重要性」
- (5) 北海道札幌啓成高等学校
「早春の野幌森林公園におけるアライグマによるエゾサンショウウオの捕食状況」
- (6) 北海道滝川高等学校
「東滝川農機具倉庫におけるカグヤコウモリ（*Myotis frater kaguyae*）の繁殖習性」

【実施風景】



会場全景



司会（上原氏）



北洋銀行横内龍三会長



高校生による発表



Rick Baydack 氏



David Morris 氏



吉田剛司氏



国際交流会風景

1 普及啓発事業

■ ホクレンショップ 50 周年記念「食や農業に関連した環境保全活動表彰」

主催等	〈主催〉(公財)北海道環境財団 〈協賛〉(株)ホクレン商事 〈協力〉ホクレン農業協同組合、HoBiCC
取組内容	(株)ホクレン商事の創業 50 周年を記念し、環境に配慮した食のあり方や農業のあり方を一般市民に深く理解していただくため、特に優れた活動を表彰し広く周知するもの。活動資金は、ホクレンショップのレジ袋削減運動寄付金により実施
対象となる活動	食や農業に関連した活動
応募資格	①道内を主たる場として活動している団体 ②食や農業に関連した環境保全活動に取り組む小中学生、高校大学生、企業、市民活動団体
募集期間	7月1日(水)～9月24日(木)
応募件数	小中学生の部：1件、高校・大学生の部：4件、市民活動・団体の部：18件
受賞者	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学生の部 <ul style="list-style-type: none"> [優秀賞] 札幌市立みどり小学校 (札幌市) ●高校大学生の部 <ul style="list-style-type: none"> [金賞] 旭川実業高等学校 (旭川市) [優秀賞] 北海道岩見沢農業高等学校 (岩見沢市) ●市民活動・団体の部 <ul style="list-style-type: none"> [金賞] NPO 法人さっぽろ AM スポーツクラブ「子どもの体験活動の場」Co ミドリ (札幌市) [優秀賞] NPO 法人八剣山エコケータリング (札幌市) [優秀賞] NPO 法人北のごみ総合研究所 (札幌市) [優秀賞] タンチョウ コミュニティ (鶴居村) ●HoBiCC 関係賞 <ul style="list-style-type: none"> [HoBiCC 特別賞] 北王農林株式会社 (幕別町) [HoBiCC 優秀賞] 札幌南ふゆみずたんぼの会 (札幌市)

■ ホクレンショップ 50 周年記念 表彰授与式・記念講演会「北海道の環境を守る食と農業」

日時	場所	参加者	主催等
11月13日(金) 18:30～20:30	札幌国際ビル 8階 国際ホール	159名	〈主催〉(公財)北海道環境財団 〈協賛〉(株)ホクレン商事 〈協力〉ホクレン農業協同組合、HoBiCC
内容・講師			
1 開会挨拶 (株)ホクレン商事 店舗事業本部 本部長 中里 雅明 氏 2 表彰授与式 ※受賞者は上記のとおり 3 受賞者活動発表 ○ 旭川実業高等学校 (旭川市) 【高校・大学の部：金賞】 ○ 特定非営利活動法人さっぽろ AM スポーツクラブ「子どもの体験活動の場」Co ミドリ 【市民活動・団体の部：金賞】 ○ 北王農林株式会社 【HoBiCC 特別賞】 4 記念講演 「北海道農業のこれから～めぐり王国北海道を通じて見えてきたもの」 講師：森崎 博之 氏 5 閉会挨拶 ホクレン農業協同組合連合会 生活事業本部 本部長 栗山 泰一 氏			

【実施風景】



(株) ホクレン商事 中里本部長 挨拶



受賞者発表：旭川実業高校



受賞者発表：Co ミドリ



受賞者：北王農林（株）



記念講演：森崎氏



ホクレン 栗山本部長 挨拶



会場全景



受賞者記念写真

■ 生物多様性民間参画シンポジウム in 札幌

開催日時	場 所	参加者	主 催
9月16日(水)	札幌国際ホール	約100人	環境省
			共催・後援
			北海道 札幌市 HoBiCC 国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J) 札幌商工会議所 (後援)
内 容 ・ 講 師			
<p>1. 開会挨拶 環境省 北海道地方環境事務所長 徳丸 久衛 氏 札幌市環境局長 谷江 篤 氏</p> <p>2. 講演「企業は生物多様性にどのように取り組むか ～最近の動向から～」 日経エコロジー編集&日経BP 環境経営フォーラム 生物多様性プロデューサー 藤田 香 氏</p> <p>3. 施策紹介「生物多様性の民間参画の推進に向けて」 環境省 生物多様性施策推進室 室長補佐 鈴木 宏一郎 氏</p> <p>4. 事例紹介 「生物多様性に配慮した事業活動」 サッポロビール株式会社 「コープさっぽろの生物多様性の保全に向けた環境負荷低減活動の取組」 生活協同組合コープさっぽろ 「緑豊かな札幌ドームから発信する生物多様性への取組み」 株式会社札幌ドーム 「建設業における生物多様性への取組み」 大成建設株式会社 「生物多様性を切り口にした緑化事業」 住友林業緑化株式会社 「事業者の取組の促進に向けた札幌市の取組」 札幌市環境局</p> <p>5. 交流会</p> <p>6. パネルディスカッション 「生物多様性の主流化に向けた事業者の取組の推進～」 (コーディネーター) 北海道大学大学院 農学研究院 教授 中村 太士 氏</p>			

■ 自然環境保全を担う人材育成のためのセミナー「自然環境保全を仕事にしよう！」について

開催日時	場所	参加者	主催等
第1回:10月27日(火) 第2回:11月25日(水) 第3回:12月16日(水) 第4回:1月27日(水) 第5回:2月22日(月) 開催時間は各回共通 18:00~20:00	北海道庁旧本庁舎 (赤れんが庁舎) 2階2号会議室 (5回目のみ1号 会議室)	第1回:107名 第2回:98名 第3回:98名 第4回:59名 第5回:63名	〈主催〉(公財)北海道環境財団、 北海道、北海道環境教育等推進協議 会 〈共催〉HoBiCC 〈協賛〉アサヒビール(株)
内容・講師			
<p>各回とも、各講師からの仕事紹介とパネルディスカッションを行った。</p> <p>〈第1回〉自然環境に関わる公務員 竹中 康進 氏 (環境省羽幌自然保護官事務所 自然保護官) 石井 弘之 氏 (北海道環境生活部環境局生物多様性保全課主査) 畠山 亜希子 氏 (札幌市環境局生物多様性担当係長) 名内 隆 氏 (栗山町教育委員会社会教育グループ主査)</p> <p>〈第2回〉自然系施設の職員 牛山 克巳 氏 (宮島沼水鳥・湿地センター、日本湿地学会事務局長) 町田 善康 氏 (美幌博物館 学芸員) 有賀 望 氏 ((公財)札幌市公園緑化協会学芸員、ワイルドサーモンプロジェクト共同代表) 朝倉 卓也 氏 (札幌市円山動物園)</p> <p>〈第3回〉自然環境コンサルタント 渡辺 修 氏 ((株)さっぽろ自然調査館) 松岡 和樹 氏 ((株)地域環境計画北海道支社生物多様性推進室) 櫻井 善文 氏 ((株)ドーコン生物多様性推進チーム総括リーダー、環境保全部副技師長) 井部 真理子 氏 ((株)ライヴ環境計画取締役環境調査室長)</p> <p>〈第4回〉企業の自然環境保全 佐田 朋彦 氏 (アサヒグループホールディングス(株)CSR部門ゼネラルマネジャー) 橋部 佳紀 氏 ((株)アレフ 農業研究部リーダー) 小谷 栄二 氏 (ファームエイジ(株)代表取締役) 宇井 雅彦 氏 (北海道コカ・コーラボトリング(株)経営管理部)</p> <p>〈第5回〉自然環境に関わるNPO 田中 住幸 氏 (NPO法人あそベンチャースクール 代表理事) 阪野 真人 氏 (NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト 研究員) 吉元 美穂 氏 (NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ 事務局長) 上田 融 氏 (NPO法人いぶり自然学校 代表理事)</p> <p>● パネルディスカッションコーディネーター 能條 歩 氏 (北海道教育大学岩見沢校 教授)</p>			

【実施風景】



アサヒビール（株） 梶下営業企画部長挨拶



講師：竹中氏（第1回）



講師：町田氏（第2回）



講師：井部氏（第3回）



講師：小谷氏（第4回）



講師：吉元氏（第5回）



各回コーディネーター：能條氏



全景（第1回）

2 外来種対策

■ 「セイヨウオオマルハナバチ駆除 in 恵庭」

開催日時	場 所	参加者	主 催
5月23日(土) 10:00~12:30	恵庭市 えこり ん村銀河庭園	35人	北海道セイヨウオオマルハナバチ対策推進協議会、北海道、HoBiCC、株式会社アレフ
内 容 ・ 講 師			
9:30	受付開始		
10:00	開始(司会進行:アレフ) ・挨拶(北海道) ・外来種対策及びセイヨウオオマルハナバチ駆除活動の意義等説明(北海道) ・対策協議会及びセイヨウ情勢の紹介(環境財団) ・セイヨウオオマルハナバチの捕獲方法(アレフ)		
10:30	銀河庭園内で捕獲、駆除 【捕獲数】 30頭(女王21頭、ワーカー9頭)		
11:45	銀河庭園内で集合し、成果の確認と講評		
12:30	記念撮影後解散		

【実施風景】



セイヨウオオマルハナバチについての説明



捕獲風景



捕獲したセイヨウオオマルハナバチ



集合写真

■ 「セイヨウオオマルハナバチ駆除 in 石狩」

開催日時	場所	参加者	主催・共催
7月11日(土) 10:00~12:00	石狩市 石狩浜海浜植物保護 センター周辺	19人	北海道セイヨウオオマルハナバチ対策推進協議会 石狩市石狩浜海浜植物保護センター
内容・講師			
9:30	受付開始		
10:00	開始(司会進行:石狩市) ・挨拶(環境財団) ・セイヨウオオマルハナバチバスターズについて(北海道) ・セイヨウ情勢について(環境財団)		
10:15	講義(環境科学研究センター 西川 洋子 氏)		
10:45	石狩浜海浜植物保護センター付近で捕獲、駆除 【捕獲数】 24頭(オスおよびワーカー)		
11:45	石狩浜海浜植物保護センターに集合し、成果の確認と講評、参加者の感想等		
12:00	記念撮影後解散		

【実施風景】



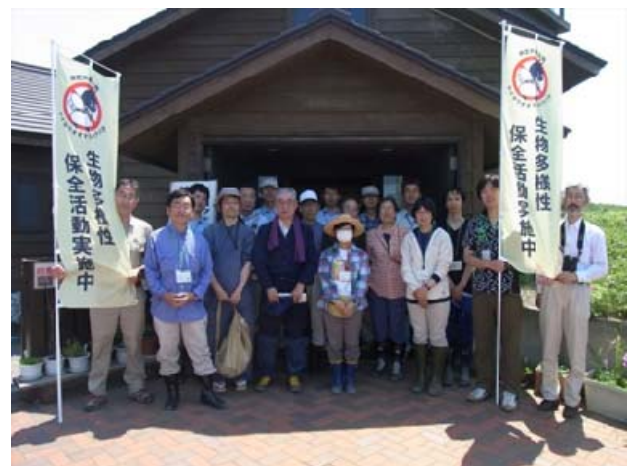
開催挨拶



講義風景



捕獲活動



集合写真

■ 「マルハナバチ調査隊 in サッポロさとらんど ～外来種問題について考えよう～」

開催日時	場所	参加者	主催・共催
7月25日(土) 10:00～12:30	札幌市 サッポロさとらんど	70人	札幌市、石狩振興局、北海道セイヨウオオマルハナバチ対策推進協議会、HoBiCC、サッポロさとらんど
内容・講師			
9:30	受付開始(さとらんどセンター)		
10:00	開始(司会進行:札幌市) ・挨拶(さとらんど)		
10:05	講義①「外来種問題・生物多様性とは」(札幌市)		
10:20	講義②「マルハナバチとは」(環境科学研究センター 西川 洋子 氏)		
10:50	捕獲方法実演(札幌市)		
11:00	さとらんど内「ラベンダーの丘、さとらんどガーデン」で調査、捕獲、駆除 【捕獲数】 300頭(オスおよびワーカー)		
12:00	さとらんどセンターに集合し、成果の確認と講評、参加者の感想等 ・セイヨウオオマルハナバチバスターズ及びセイヨウ情勢の紹介		
12:30	解散		

【実施風景】



講義風景



捕獲活動1



捕獲活動2



講義会場と参加者

■生物多様性シンポジウム

『定着化する外来種「セイヨウオオマルハナバチ」その現状と防除について考える』

開催日時	場所	参加者	主催等
10月17日(土) 14:00～16:30	札幌アスペンホテル 2階 アスペンA	84名	〈主催〉北海道セイヨウオオマルハナバチ対策推進協議会 〈後援〉環境省北海道地方環境事務所
内容・講師			
<p>セイヨウ防除活動に取り組む方を講師として、セイヨウオオマルハナバチの現状と活動内容などを紹介した。また、シンポジウム終了後には、講演者・関係者等によるセイヨウ防除に関する今後の活動のあり方などについての意見交換を行った。</p> <p>[シンポジウム プログラム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 世界に誇る市民科学『セイヨウオオマルハナバチモニタリング』 中央大学工学部人間総合理工学科 教授 鷺谷 いづみ 氏 ・事例発表 『近年の大雪山麓域におけるマルハナバチの現状と当会の活動について』 大雪山マルハナバチ市民ネットワーク 戸島 あかね 氏 『私たちにもできる湿原生態系の保全活動』 雨竜沼湿原を愛する会 佐々木 純一 氏 『野付半島のセイヨウ事情 ～希少種と外来種～』 野付半島ネイチャーセンター 石下 亜衣紗 氏 <p>[意見交換会 参加組織（一部参加者名）]</p> <p>鷺谷いづみ（中央大学工学部人間総合理工学科教授） 大雪山マルハナバチ市民ネットワーク 雨竜沼湿原を愛する会 別海町野付半島ネイチャーセンター 環境省北海道地方環境事務所 北海道環境生活部環境局生物多様性保全課 札幌市環境局環境都市推進部環境共生推進担当課 石狩市環境市民部環境保全課 黒松内町企画環境課 株式会社アレフ 独立行政法道総研環境科学研究センター 公益財団法人北海道環境財団</p>			

【実施風景】



会長挨拶



鷺谷先生 基調講演



事例発表1 (戸島氏)



事例発表2 (佐々木氏)



事例発表3 (石下氏)



道庁発表 (小林氏)



会場全景



意見交換会

■ 報告会（CISE サイエンスフェスティバル 2016）出展およびトランクキットの作成

開催日時	場所	来場者	主催等
1月23日（土） 12:00～18:00 1月24日（日） 10:00～15:00	札幌駅前通地下歩 行空間「北大通交 差点広場（東・西）」	7,761名	〈主催〉CISE ネットワーク、北海 道セイヨウオオマルハナバチ対策 推進協議会 〈共催〉札幌市、株式会社北海道新 聞社, HoBiCC
内容			
<p>セイヨウオオマルハナバチ問題の啓発活動に活用する「トランクキット」や協議会の活動を紹介したパネル等を展示して、セイヨウオオマルハナバチ問題の周知・協議会の活動報告を行った。また、ステージイベントを開催し、キャラクター（着ぐるみ）による啓発も実施した。</p> <p>[参加機関（施設・団体）] 北海道大学総合博物館、札幌市円山動物園、札幌市中央図書館、札幌市博物館活動センター、札幌市環境プラザ、札幌市定山溪自然の村、札幌市北方自然教育園、札幌市青少年科学館、札幌市豊平川さけ科学館、いしかり砂丘の風資料館、石狩浜海浜植物保護センター、小樽市総合博物館、おたる水族館、札幌市青少年山の家、環境学習フォーラム北海道、北広島市エコミュージアムセンター知新の駅、サイエンス・スパークス、公益財団法人札幌市公園緑化協会、公益財団法人札幌市生涯学習振興財団、一般財団法人山の手博物館、北海道セイヨウオオマルハナバチ対策推進協議会</p> <p>[トランクキットの内容] ・アクリル封入したマルハナバチ（外来種、在来種）の標本 ・マルハナバチの種類を学習できるポスター（布製）や資料 ・マルハナバチと花の関係から生物多様性を説明する資料 ・駆除活動に必要な道具 など</p>			

【実施風景】



出展ブース



ステージイベントの様子

3 その他 視察及び調査対応

■韓国蔚山広域市

[日時] 7月30日(木) 16時00分～17時30分

[場所] 公益財団法人北海道環境財団 会議室

■環境省生物多様性施策推進室

[日時] 8月18日(火) 13時00分～15時00分

[場所] 公益財団法人北海道環境財団 会議室

■公益財団法人東京市町村自治調査会

[日時] 10月6日(火) 13時30分～15時00分

[場所] 公益財団法人北海道環境財団 会議室



韓国蔚山広域市 視察対応